

地盤工学会関東支部
平成 23 年度第 2 回評議員会 議事録

日 時：平成 23 年 2 月 23 日（木） 16：00～17：25

場 所：地盤工学会会館 地下大会議室

出席者：＜評議員＞柴田英明氏・沓沢貞雄氏（畑中宗憲氏の代理）・正垣孝晴氏・垂水尚志氏・西井光昭氏（下司弘之氏の代理）・溝江実氏・木村康則氏・中根宏行氏・清水満氏・野焼計史氏・青木雅路氏・三反畑勇氏・平山光信氏・中村裕昭氏・高橋邦夫氏・鈴木誠氏・三藤正明氏・伴夏男氏・佐藤節氏・若月洋朗氏（辻健三氏の代理）・金道繁紀氏
＜支部役員＞

國生支部長，赤木副支部長，内藤副支部長，太田顧問，岸田支部監事，小椋支部監事，菊池幹事長，佐藤副幹事長，高橋副幹事長，末岡オブザーバー

委任状：評議員 31 名

1. 支部長挨拶と議長選出

國生支部長より、新年度より予定している GeoKanto の新しい試みや、東日本大震災を契機とした防災に対する多々の課題への取り組みなどに触れられた挨拶があった。

引き続き、支部規程に則り國生支部長が議長に就かれた。

2. 出席者数の確認

現評議員数 53 名のうち、出席者数 16 名，委任状 31 通，計 47 名の出席（出席率 87%）により、本評議員会の成立（評議員の過半数の出席により成立）を事務局より報告した。

（なお、上記の定足数確認後の入室者が 5 名おり、以下の審議時点での出席者数は 21 名であった）

3. 【1. 平成 23 年度（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）事業経過報告および決算見込み】

菊池幹事長より、活動概要ならびに支部総会・役員会等、会員サービスグループ、茨城・栃木・群馬・山梨・千葉・埼玉・神奈川の各県グループ、研究委員会グループ、支部発表会グループ、企画総務グループの活動内容について報告した。

佐藤副幹事長より、平成 23 年 1 月までの収支実績とこれに基づく年度末の決算見込みについて報告した。

議長より質疑を求めたが、特になし。

以上の事業報告は、挙手による採決の結果、挙手 21 名、委任状 31 名、合計 52 名により承認された。

4. 【2. 平成 24 年度事業計画（案）および予算（案）】

菊池幹事長より、事業計画（案）について、活動の重点事項を中心に説明が行われた。

佐藤副幹事長より、予算案とその収支の特徴について、関東支部設立以来の事業収支状況も交えて説明が行われた。

《質疑》

垂水評議員より、関東支部の公益事業の占める割合はどれくらいかの質問があり、佐藤副幹事長より支部については0.7前後であると説明した。

議長より質疑を求めたが、特になし。

以上の事業計画（案）は、挙手による採決の結果、挙手21名、委任状31名、合計52名により承認された。

5. 【3. 平成24年度支部役員名簿（案）】

菊池幹事長より、支部役員名簿（案）について、東畑副支部長より任期中退任のご意向があり、副支部長は当面1名欠員とするほか、現時点での任期満了者の後任候補者および交代予定者について紹介があり、今後各機関の人事異動等も踏まえ、前任者からの推薦や公募、各機関への依頼等を行い支部長、副支部長、幹事長によって新年度役員案をとりまとめ、支部総会に提案したいとの説明が行われた。

議長より質疑を求めたが、特になし。

以上の支部役員名簿（案）は、挙手による採決の結果、挙手21名、委任状31名、合計52名により承認された。

6. 【4. 関東支部表彰規程の制定について】

佐藤副幹事長より、関東支部表彰規程の制定について、目的、設ける表彰と規程案について説明が行われた。なお、表彰規程案について議案書中の第11条を第12条とし、新たに第11条として「この規定の改廃は、評議員会の議を経て行うことができる」との条文追加を行うこともあわせて説明があった。

《質疑》

末岡オブザーバーより、いつから表彰を実施するかについて質問があり、佐藤副幹事長より平成25年度、26年度に実施予定である関東支部10周年記念事業にあわせて表彰が実施できるように運用準備を進めたい考えであるとの説明があった。

青木評議員より本部表彰と支部表彰の関係および何件くらいの表彰を行う考えかを問う質問があり、菊池幹事長より本部と支部の同時表彰もあり得ると考えており、また本部の表彰対象業績にかからないものとして、例えば特別会員企業が刊行している社内研究成果報告等も対象に取り上げたい方針であること、表彰数もハードルが厳しくなり過ぎないようにしたい意向にあり、こうした事項については、今後内規で取り決めていきたいとの説明があった。

後藤リーダー幹事より、表彰規程案第2条1)技術賞の①に記載されている業績に、「計測」の次に「維持管理」を追加してはという意見が述べられ、菊池幹事長より提案に沿って議案を修正したいとの発言があった。

垂水評議員より、どのくらいの期間の業績を対象とするのかとの質問があり、菊池幹事長より

10周年記念事業にあたっては長めに取り組む必要があると考えており、その後の運用も含めて検討し、内規に定めたいとの説明があった。

以上の関東支部表彰（案）は、議長より説明時の条文の追加および質疑での修正意見を取り入れたものとして採決を行うとの説明があり、その結果、挙手 21 名、委任状 31 名、合計 52 名により承認された。

7. 意見交換

議長より、支部運営に関して質問や意見を頂戴したいとの申し出があり、以下のような意見交換等が行われた。

- ・ 昨年の大地震以降、提言その他の活動を行っているが、具体的に施工等に活かされた事例やどうなったかという様子がわかるように、学会の貢献をもっと PR すると、会員増にもつながるのではないかとの意見があり、支部長より、是非そのような方向でやっていきたいとの返答があった。
- ・ 会員の減少や、定年後会員でいるメリットが見いだせない人が多いことを受け、地形、地質、歴史、地下水などに関わるミニ講演会をセットにした関東の造り酒屋めぐりのようなやわらかい企画が学会活動の一環として行われても良いのではとの意見があり、会場にも意見を求めたところ、推奨意見が多数であった。
- ・ 男女共同参画について学会としても取り組んでいるところであるが、関東支部の役員にも女性会員の参画を図っていくべきではないかとの意見があり、幹事長より今後いろいろと取り組みを考えていきたいとの返答があった。

8. 閉会の挨拶

「以上で本日の議案の審議はすべて完了いたしました」との議長の発言をもって閉会した。

以上

議事録作成 佐藤謙司